

令和六年度 各市町青少年健全育成活動

◆米沢市

米沢市青少年育成市民会議では、青少年が家庭や地域にとってかけがえのない一員として、心身ともに健やかに成長し、自立的・主体的に行動していただけることを願い、家庭や学校をはじめ、関係機関や関係団体等と連携し、心豊かで健全な青少年を育成するために、積極的に活動を推進していきます。

主な事業として、七月に各地区市民会議や青少年指導センター等と協力して「成人向け図書類調査」、八月に「環境づくり懇談会」、十一月には学校や青少年育成団体等を対象とした「青少年育成市民大会」を開催します。一月に「地域活動交流会」において活動内容を発表していただき、各地区市民会議の活性化を図っていきます。またこれまでどおり、広報啓発活動を行い、青少年のための健全な環境づくりの推進に取り組みます。



米沢市青少年育成市民会議
総会

◆南陽市

南陽市では地域総合型教育に力を入れており、青少年と地域住民の主体性や社会力、地域教育力の向上を目指しています。



きらきら・E-KUBOキッズ
「書道パフォーマンスに挑戦」

いじめ・非行をなくそう、運動推進のため、いじめ防止標語を掲載したカレンダーを作成し、いじめ根絶の意識高揚を図ります。

また、小学生対象の体験交流講座「きらきら・E-KUBOキッズ」とそれをサポートする中学生以上が対象のきら・E-KUジュニアサポータークラブほか、青少年ボランティア助成事業を実施し、地域の担い手となる人材育成とともに、青少年が地域への理解を深め、豊かな人間性を形成できる支援の強化に努めていきます。今年度は地域食堂とのコラボ企画も予定しています。

その他、地域学校協働活動や家庭教育講座など、学校・家庭・地域との連携を図り、地域総ぐるみで青少年の健全育成と安心安全な環境づくりを進めていきます。

◆高島町

高島町では、県民運動のスローガンでもある「大人が変われば子どもも変わる」のもと、子どもたちが健やかに、豊かな人間関係を育める町をめざして様々な活動を行っています。

啓発活動や青少年育成に携わる方の研修活動に力を入れていくと共に、各小中学校で行われている朝のあいさつ運動に参加をし、地域住民との交流と子どもを見守り、育てるための環境づくりを行います。

地域に向いた活動のほか、町ホームページやSNS等を利用した周知をさらに充実させ、青少年の健全育成に向けた活動を強化します。

地域の事業に積極的にかかわると同時に、活動に携わる方々との意見交換等から活動内容のレベルアップを図り、高島町が一体となつて、青少年がより安心安全に暮らせる環境づくりを力を入れていきます。



あいさつ運動（屋代小学校）

◆川西町

昨年度は五月に新型コロナウイルスが五類に移行したことを機に、休眠していた町内の関係団体の活動、イベントは徐々に復活し、私たち推進委員会の活動も再始動を図った一年でした。



かわにし夏祭りでの啓発活動

今年度は、県民運動の具体的活動として、昨年度同様かわにし夏まつりでの啓発・巡回指導やコンビニエンスストア有害図書類調査、防犯標語募集・表彰、小学生新春書初め大会等を行うほか、環境フェアでの広報活動や町民生活安全大会での少年の主張発表などを実施する予定です。

特にかわにし夏祭りは町内外から児童生徒等を含む千人以上が集まるイベントであり、今年度の主要事業として啓発活動及び巡回指導を実施する予定です。

このほかの活動についても、効果・効率を指標とし関連団体、事業と連携を図り事業展開を図ってまいります。

◆長井市

長井市青少年育成推進委員会では、青少年の非行や事故を未然に防止し、各地区の代表として青少年が心身ともに健やかに成長していくことを目的として活動しています。毎年、「ながい黒獅子まつり」や「ながい水まつり」、「長井おどり大パレード」開催時の夜間街頭指導、七月に「有害図書調査」を行います。また、長井警察署のご協力のもと、地域防犯活動として青色防犯パトロールの取り組みにも力を入れていきます。

今年度は長井市が市政七十周年を迎え、様々な催しを行うことから、青少年が集まる機会も増えますので、青少年健全育成活動を行っていきます。

十二月には、「生徒と地域の大人の対話会」が、長井高等学校を会場に県主催で開催されます。対話を通じて、生徒たちのいじめ・非行などについてグループワークをする予定です。

先日、「ながい黒獅子まつり」の際に夜間街頭指導を行いました。推進員の声掛けのもと、会場周辺に残っていた青少年に気をつけて帰るよう促し、非行や犯罪を未然に防ぐことができました。

また、今年度もいじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動及び「大人が変われば子どもも変わる」県民運動のスローガンのもと、より一層の青少年健全育成事業の充実を目指し積極的に取り組んで参ります。



青少年育成推進員による黒獅子まつり街頭指導

◆小国町

小国町青少年育成推進員は、青少年育成推進活動や他団体と連携した活動のほか、学校と地域が連携して様々なボランティア活動を

行っている組織『白い森子ども応援隊』にも参画して活動しています。

五月から十月には、小国地区少年補導員連絡会と連携し、町内小中学校にて「あいさつ運動」の実施を予定しており、元気に登校する子ども達を見守ります。

その他にも、有害図書類調査や、八月のイベント会場では「いじめ・非行をなくそう」県民運動の広報啓発活動及び巡回指導の実施を予定しております。

また、これまで開催が自粛されてきたスポーツ大会など、各主会場にて青少年健全育成キャンペーンの啓発活動も実施していく予定です。

これからも学校と地域・各種団体とが緊密に連携することで青少年の健全な育成に寄与していく波及効果に期待し、これからも各種活動を推進していきます。



図書類の一斉巡回調査

◆白鷹町

白鷹町では、次代を担う青少年の健全な活動及び育成を図ることを目的に活動しています。

今年度も『いじめ・非行をなくそう』やまがた県民運動、「大人が変われば子どもも変わる」県民運動を主軸に、大人も子どもも健全な社会に繋がる活動を計画しています。特に有害図書調査は、例年、青少年専門員の先生に同行いただき実施しています。年々指導事項が減っており、効果が見えてきていると感じております。今年度も、注意点を事業者と共有しながら、健全な環境維持に努めたいと思います。また、今年度は新事業として『子ども会議(仮)』を予定しております。

町内の中高生代表と町民会議のメンバーが会し、日ごろ聞くことが出来ない子ども達の視点から、より良い町の未来・持続可能な社会(町)を語り合うことが目的です。貴重な子どもたちの意見を聞ける機会が、楽しみです。

さて、青少年に関する犯罪やトラブルが多様化している。今、これまでの知識では防ぎきれないことも増えてきていると感じます。私たち自身も日々、知識を広げながら活動していきたいと思えます。



白鷹町青少年育成町民会議総会

◆飯豊町

飯豊町では次代を担う子どもたちが心身ともに健やかに人間性豊かに成長することを願って、各種活動に取り組みでまいります。

具体的には、青少年健全育成キャンペーンにおけるチラシ配布等の啓発活動や、いじめ・非行をなくそう、やまがた県民運動に係る標語の募集、有害図書類の町内巡回調査を実施する予定です。

イベント等もコロナ禍以前の状況に戻ってきており、世代を超えて交流する機会が増えてきております。

地域で開催される行事に積極的に参加・協力し、子ども達の健やかな成長のため、地域との連携強化を図ってまいります。

また、防犯パトロール活動にも積極的に取り組んでまいります。

将来の地域の担い手となる子どもたちを地域社会全体で見守り育むとともに、青少年と地域住民の主体性と地域教育力の向上を目指し、関係機関と連携し、地域をあげて取り組んでまいります。



図書類町内巡回調査

令和六年度 山形県青少年育成県民会議総会

五月三十日、県庁講堂において令和六年度山形県青少年育成県民会議総会が開催されました。

令和五年度の事業報告、決算報告が承認された後、役員選任が行われ、会長に柿崎則夫氏（元山形県立新庄北高等学校校長）が就任しました。置賜地区からは、副会長に山口和夫青連協会長、常任理事に齋藤芳昭青連協副会長、理事に鈴木昌克青連協副会長が選任されました。令和六年度の活動方針、事業計画、予算も承認され、今年度の活動が決定されました。

◆感謝状の贈呈

置賜地区青少年育成連絡協議会前会長の安達英一様の多大なご功績が認められ、総会の場で感謝状贈呈式が行われました。県民会議における役員歴は、副会長六年、常任理事四年、通算十年で、多年にわたり重責を担われました。



感謝状を受領する安達英一様

令和六年度事業計画

◆県民運動総合推進事業

(1) いじめ・非行をなくそう
やまがた県民運動の推進

- ① 市町村民会議等に対する支援
- ② 標語の募集、広報、周知、表彰
- ③ 児童・生徒を対象とする運動
- ④ いじめ・非行防止セミナーの開催
- ⑤ インターネット利用研修会の開催
- ⑥ 県内の民間企業・団体等との連携

(2) 「大人が変われば子どもも変わる」
県民運動の環境づくり

- ① 青少年育成地区連絡協議会の地域実践活動
- ② 市町村民会議等による県民運動推進基盤の強化活動
- ③ 地区青連協が市町村民会議と共同して行う運動

◆青少年育成意識醸成、青少年のための環境づくり推進事業

- (1) 明るいやまがた夏の安全県民運動
(七月二十一日～八月二十一日)
- (2) 青少年健全育成県民大会の開催
(十月二十七日：村山市民会館)
- (3) 山形県少年の主張大会の開催
(九月二十一日：山形ビックウイング)

◆青少年育成広報啓発事業

- (1) 防犯広報ポスター・標語の募集
- (2) 機関誌等の発行
- (3) 「家庭の日」の普及啓発
- (4) 県内の民間企業・団体等との連携
- (5) ホームページを活用した情報発信
- (6) 県民運動の啓発及び情報提供

合同研修会（講演会）

演題

「はじめのLGBTQ」
性の多様性と人権

講師 杉山 文野氏

六月二十九日、高島町糠野目生涯学習館を会場に、置賜社会教育振興会、置賜地区青少年育成連絡協議会、及び高島町青少年育成町民会議による合同研修会が開催されました。

講師の杉山文野氏は、フェンシング元女子日本代表で、現在は日本フェンシング協会理事、日本オリンピック委員会理事などの重責を担っています。

杉山氏は、幼い頃から性別違和を自覚していたといいます。社会生活を送る上での悩みや困難さに立ち向かってきた経験をもとに、自らの生き方を紹介してくださいました。

多様性、包摂性、公平性を認め合い、すべての人が尊重される世界になるためには、私たち一人ひとりがどのような考え方に基づいて社会を形成するのか、という問いが問われます。新たな気づきがあり、あるべき方向性を深く考える講演会になりました。



重点運動期間：7月・8月・11月

「いじめ・非行をなくそう」やまがた県民運動

～いじめ・非行を許さない社会づくりを進めていこう～

「大人が変われば子どもも変わる」県民運動

～あいさつ・見守り、モラル・マナー、子どもの安全を守る～